

謝辞

通園路に草花が芽吹き、うららかな陽ざしに心躍る季節、子どもたちの巣立ちの時となりました。

本日は村上学園長先生を始め、ゆり組担任の佐藤先生、風の子太陽の子組担当の先生方、諸先生方にはこのように心温まる卒園式を催していただき、厚く御礼申し上げます。

まぶたを閉じると、緊張している子どもたちと保護者をとても温かな笑顔で迎え入れて頂いた入園の日がついこの間のこのように思い出されます。

慣れるまで子どもの泣き顔に後ろ髪を引かれる思いで玄関を出る私たちを励ましてくださったのも先生方でした。いつの間にか元気な笑顔で送り出してくれる頼もしい姿に安心して門をくぐれるようになりました。

笑った 立った 歩いた ただそれだけで大喜びしたふたば組。

少しお兄さんお姉さんになって、できることが増えたつくし組。

言葉も増え、「いやいや」も沢山あったけれど、跳んだり、走ったりが上手になったたんぼぼ組。

好奇心いっぱいのおうち組。メロディオンに夢中になりました。

お友達と約束を守って遊んだり、我慢強くなったり、自分のことを自分でできることも増えたばら組。

最終学年のゆり組。親がいない夜を過ごしたサマーキャンプとウィンターキャンプ、かっこよかった運動会の組体操。早朝練習が実を結んだ一輪車。澄んだ心のかよった歌声と演奏に感動したコンサート。保育参観では、編集に時間をかけて下さったに違いないムービーの上映。数々の成長の場面に感動し、すっかりお兄さん、お姉さんになったと感じました。子どもたちの誰もが一生懸命で、担任の先生への信頼の眼差しやキリッと引き締まった表情にも感動を覚えました。

これまでの数年間、感染症の拡大に、保育さえ難しく、多くの施設が行事を削減する中、ここ、花の木なかよし保育園は変わりなく保育を継続して下さり、かけがえのない日々を過ごすことができました。先生方のご苦勞はいかばかりだったことでしょうか。

太陽を浴びキラキラと輝き、裸足で安心して走り回れる園庭、秋田杉の園舎、教室ごとにあるピアノ、安全で贅沢な環境作りに尽力して下さった先生方、材料まで吟味された四季折々の食材で最高に美味しい給食を作って下さった先生方、園の理念を大切にされ、「知・情・体」の調和のとれた沢山の活動を準備して下さった先生方、すべてに子どもたちへの慈しみや愛を感じる日々でした。

その慈愛の元、卒業されたお兄さん、お姉さん方のお手本を行事や毎日の生活の中で見ることができました。

そのおかげで小さな存在を大事にする思いやりも学びました。また、自分もできるようになると信じて、登り棒、鉄棒、跳び箱、一輪車に、楽器に、納得いくまで粘り強く取り組むことができました。沢山の経験を積み、その輝く瞳に宿っていたのは「自信」そのものでした。子どもたちの頑張りや仕事と育児の両立に必死な私たちに感動を与え、励まし、再び立ち上がる活力をくれました。

感動は感謝となりました。本当にありがとうございました。

子どもたちの幸せな保育園生活は終わりに近づいてきています。こんなにも恵まれた環境の中で過ごせたことが当たり前でなかったことを痛感しています。

しかし、花の木なかよし保育園の保育理念「思いやりと感謝する心、強く逞しい心身を育てる」は、純粋な子どもたちの心にしっかりと根を張りました。瞳がたたえている明敏な光はこの園での生活があったからこそだと確信しています。

このようにたくましく成長した卒園児ゆり組十八名、風の子太陽の子組一名は、先生方の祈りに守られ、希望を胸に自信を持って未来へと歩んでまいります。

最後になりますが、花の木なかよし保育園の益々の御発展、先生方、ご列席された皆様のご健勝とご多幸を、そして世界の平和を、お祈りいたしまして、お礼の言葉とさせていただきます。